



# 園長便り



2019年10月31日発行  
セブンスデーアドベンチスト石川教会付属 石川三育保育園

## 友情

毎朝夕がめっきり涼しくなり、秋を感じる日々が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか？

ある時ワーナーメーカーは、伝道者ビリー・サンデーを案内して、自分の持っている大きな百貨店を見せました。一巡し終わった時に、ワーナーメーカーは、「この店の中のものならば何でもお好みにしたがってさしあげたい」と申しました。ビリー・サンデーの求めたものは、「この世界最大のデパートの所有者の友情」でした。今、多くの人々がものを求めて、この世界にもものより尊いもののあることを忘れていきます。この世界を所有し、人を愛しておいでになる神の友情は人間の求めうる最高のものです。

聖書にダビデとヨナタンの友情物語があります。「サウルの子ヨナタンは立って、ホレシにいるダビデのもとに行き、神によって彼を力づけた。そしてヨナタンは彼に言った、『恐れるにはおよびません。父サウルの手はあなたに届かないでしょう。あなたはイスラエルの王となり、わたしはあなたの次となるでしょう。このことは父サウルも知っています。』こうして彼らふたりは主の前で契約を結び、ダビデはホレシにとどまり、ヨナタンは家に帰った」(サムエル記上 23 : 16~18) この場面は王子ヨナタンがその友ダビデを自分より優れた器として認め、自分に代わって王となることを受け入れるところであり、王子であるヨナタンが自分より友が栄誉を受け、幸せになることを喜んだ場面です。

この場面にあるように人は誰でも親友を持ちたいと願っています。クラスメート、仕事の同僚、クラブやサークルの仲間、近所づきあい程度の友人は、誰でも多少の差はあれ、持っていることでしょう。しかし、私たちは、それでは満足しません。もっと心の底から触れ合うことのできる友を求めています。私たちはそれで苦勞してきました。できれば子どもたちにはそういう苦勞をさせたくありません。そこで提案ですが、幼い時から、子どもたちに親友を作ってほしいと思います。幼なじみの友人を。

そのためには、「幼い日から、自分の良さを、他人の良さに気づかせるようにすることが極めて重要であります。人は自分の良さに気づいた時、すべてに自信を持ち、希望を持つことができるようになります。また、何事に取り組む時も、常により良い段階へ飛躍しようとする傾向が高まり、他人にも寛容になります。それで、親や保育士は、その子どもの欠けた点を指摘して矯正しようと努めるよりも、その子どもの良さに目を向け、自覚を促すように励ましを与えることがたいせつであります。同時に他人の持っている良さにも気づくように仕向けなければなりません。・・・親や保育士は、絶えず子ども友だち関係をよく理解し、友だち作りのよい助け手となれるように努めたいと思います。」(輝くひとみをいつまでも 102~103 ページ)

皆様の子育てに神様の祝福がありますようお祈りいたします。

石川三育保育園 園長 富浜宗言